



A4 サイズ：1 ページ、別紙あり

令和5年10月16日

報道関係 各位

名古屋市北区医師会  
会長 小林 邦生  
電話：052(915)5571  
名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター  
管理課長 安井 恒喜  
電話：052(991)8121

## 名古屋市北区医師会・名古屋市北消防署・ 名古屋市立大学医学部附属西部医療センターとの合同による 災害対応訓練を実施します

この度、名古屋市北区医師会・名古屋市北消防署・名古屋市立大学医学部附属西部医療センターの合同による、災害対応訓練を実施しますので、ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

### 1 日時及び場所

日 時：令和5年10月29日（日）

9時50分 訓練開始（発災・災害対策本部立ち上げ）

12時30分 患者受入れ開始

14時45分 訓練終了

場 所：名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター

### 2 訓練の概要（タイムスケジュールは別紙をご参照ください）

#### 想定シナリオ

南海トラフ大地震発生 市内の震度6強 震源は静岡県西部 最大震度7 余震の恐れあり  
愛知県及び近隣に、建物崩壊・火災・大型車両を含む多重衝突事故・列車の脱線など大きな被害  
西部医療センターも被災するが、災害対応可能と判断し、災害拠点病院として患者受け入れ開始

【問い合わせ先】 西部医療センター管理課：片山(かたやま) 経営課：都筑(つづき)  
電話：052(991)8121 FAX 052(916)2038 E-Mail：[a9918121@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:a9918121@sec.nagoya-cu.ac.jp)

時間	事項	詳細	場所 (西部医療センター)
9:00	受付	職種別に受け付け	2F 大ホール
9:15	訓練開始	委員長あいさつ	2F 大ホール
9:20	講義・トランシーバー練習 25分	訓練概要説明及び災害に関する講義/ トランシーバー配布後、練習	2F 大ホール
9:45	部署へ戻る	各所属部署へ戻る	各所属部署
9:50	発災 (放送①)	災害対応幹部は院長室に集合	院長室
		各部署で被害状況報告書①記載	各所属
10:00	本部立上げ (放送②)	大ホールへ移動し、本部内部門を 設営	2F 大ホール
10:15	本部内ブリーフィング①	本部内統括者の確認	2F 大ホール
10:30	被害状況報告書1徴集 (放送③)	放送で被害状況報告書1を本部へ提出	2F 大ホール
10:50	本部内ブリーフィング②	被害状況報告書1をもとに災害対応を決定	2F 大ホール
11:00頃	災害対応移行 (放送④)	初療の立ち上げ、被害状況報告書 2提出	2F 大ホール
11:00頃	初療エリアの設営	各エリアの設営	1F 新設部門
	被害状況報告書2の徴集	被害状況報告書2を徴集	2F 大ホール
11:20頃	統括者召集 (放送⑤)	被害状況報告書2が出そう頃、本部外部 部門統括者を召集 統括者ミーティングを行い、院内状況を 共有する	2F 大ホール
11:30頃	職員配備カードの徴収 (放送⑥)	職員配備カード提出の放送を入れ、 職員部門で徴収する	2F 大ホール
11:40頃	初療設営完了報告	各初療エリアの設営完了が報告される	
11:45頃～ 12:30頃	休憩 (45分)		
12:30頃	<b>患者受け入れ開始</b>	患者受け入れ (1回目) 1時間	2F 大ホール 1F 新設部門
13:15頃	医療救護所 (仮想) より西部へ重症患者 の受入依頼	院外対応から診療統括へ上申	2F 大ホール
13:30頃	振り返り (15分) 医療救護所 (仮想) へ了承の連絡	1回目の振り返り 15分	2F 大ホール 1F 新設部門
13:45頃	患者受け入れ再開	患者受け入れ (2回目) 1時間	2F 大ホール 1F 新設部門
14:00頃	北消防署救急車が医療救護所 (仮想) より患者を搬送し西部に到着	トリアージを経て初療へ搬入	1F 初療
14:45	部門検証 片付け (60分)	後片付け/本部椅子並べ	2F 大ホール 1F 新設部門
		部門ごとの検証	2F 大ホール 1F 新設部門
15:45	全体振り返り・講評	各統括者・病院長・委員長	2F 大ホール
16:15	従事者終了		